

令和2年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書
＝令和元年度(平成31年度)事業分＝



令和2年9月
上川町教育委員会

目 次

1、点検及び評価の趣旨	2
2、点検及び評価の対象	2
3、点検及び評価の方法		
(1) 点検及び評価の視点	2
(2) 学識経験者の知見の活用	2
4、点検及び評価の結果		
(1) 教育委員会の活動状況	3
(2) 主要施策、事業等の実施状況及び評価	7
5、学識経験者の意見		
(1) 教育委員会の活動状況	15
(2) 学校教育	15
(3) 社会教育	16
(4) 総合評価	16

1、点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され(平成20年4月1日施行)、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することになりました。

また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

2、点検及び評価の対象

令和元年度(平成31年度)の教育委員会の活動状況のほか、学校教育及び社会教育において実施した施策・事務事業等を点検及び評価の対象としております。

3、点検及び評価の方法

(1)点検及び評価の視点

教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、施策・事務事業等については、妥当性、成果等の観点から実施状況を点検し、今後の取組の方向性を明らかにしています。

(2)学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った教育委員会の活動状況や施策・事務事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検評価に関する意見や助言をいただきました。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

4、点検及び評価の結果

(1)教育委員会の活動状況

① 構成

(令和2年3月31日現在)

職 名	氏 名	委員初任年月日	任 期
教 育 長	中 野 俊 和	H 28. 4. 26	H 31. 4. 26 ~ R 4. 4. 25
職 務 代 理	辻 拓	H 16. 10. 1	H 28. 10. 1 ~ R 2. 9. 30
委 員	安 藤 智 昭	H 20. 10. 1	H 30. 10. 1 ~ R 4. 9. 30
委 員	桜 田 紀 子	H 29. 10. 1	H 29. 10. 1 ~ R 3. 9. 30
委 員	菊 地 由 紀 子	R 1. 10. 1	R 1. 10. 1 ~ R 5. 9. 30

② 会議の状況

令和元年度(平成31年度)は、次のとおり会議が開催されました。

それぞれの会議においては、委員が教育行政の運営の基本方針や教育委員会規則等の制定・改正など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けています。

	開催月日	件 名						
1	31. 4. 19	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">議案</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・上川町立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部を改正する規則について ・上川町就学援助要綱の一部を改正する要綱について ・上川町教育支援委員会委員の委嘱について ・上川高等学校教育振興対策協議会委員の委嘱について ・上川町生徒指導推進協議会委員の委嘱について ・上川町学校運営協議会委員の委嘱について ・上川町立給食センター審議会委員の委嘱について ・上川町社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について ・上川町スポーツ推進委員の委嘱について ・上川町スポーツ指導員の委嘱について ・上川町立小中学校施設開放事業管理指導員の委嘱について </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">協議案</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度上川町教育委員会の学校訪問について ・平成31年度上川町総合教育会議の開催について </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">報告</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度主任等の命課状況について ・平成30年度社会教育施設の利用状況について </td> </tr> </table>	議案	<ul style="list-style-type: none"> ・上川町立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部を改正する規則について ・上川町就学援助要綱の一部を改正する要綱について ・上川町教育支援委員会委員の委嘱について ・上川高等学校教育振興対策協議会委員の委嘱について ・上川町生徒指導推進協議会委員の委嘱について ・上川町学校運営協議会委員の委嘱について ・上川町立給食センター審議会委員の委嘱について ・上川町社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について ・上川町スポーツ推進委員の委嘱について ・上川町スポーツ指導員の委嘱について ・上川町立小中学校施設開放事業管理指導員の委嘱について 	協議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度上川町教育委員会の学校訪問について ・平成31年度上川町総合教育会議の開催について 	報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度主任等の命課状況について ・平成30年度社会教育施設の利用状況について
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・上川町立学校職員の自家用車の公用使用に関する規則の一部を改正する規則について ・上川町就学援助要綱の一部を改正する要綱について ・上川町教育支援委員会委員の委嘱について ・上川高等学校教育振興対策協議会委員の委嘱について ・上川町生徒指導推進協議会委員の委嘱について ・上川町学校運営協議会委員の委嘱について ・上川町立給食センター審議会委員の委嘱について ・上川町社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について ・上川町スポーツ推進委員の委嘱について ・上川町スポーツ指導員の委嘱について ・上川町立小中学校施設開放事業管理指導員の委嘱について 							
協議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度上川町教育委員会の学校訪問について ・平成31年度上川町総合教育会議の開催について 							
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度主任等の命課状況について ・平成30年度社会教育施設の利用状況について 							

2	1. 5. 15	報告	・上川中学校教諭の詐欺事件について
3	1. 5. 30	議案 協議案	・令和元年度特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について ・上川町の部活動の在り方に関する方針について
4	1. 8. 26	議案 協議案	・令和2年度から使用する小学校用教科用図書の採択について ・令和2年度から使用する中学校用教科用図書の採択について ・平成30年度上川町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価について ・平成31年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
5	1. 9. 18	協議案	・上川町社会福祉審議会委員の推薦について ・上川町総合教育会議の開催について ・上川町教育委員会学校訪問について
6	1. 10. 28	協議案 報告	・上川町総合教育会議の開催について ・上川町教育委員会学校訪問について ・平成31年度全国学力・学習状況調査結果について
7	1. 11. 27	議案 協議案	・令和元年度準要保護児童の認定について ・上川町就学援助要綱の一部を改正する要綱について ・上川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について ・上川町教育支援委員会委員の委嘱について
8	1. 12. 20	議案 協議案	・令和元年度準要保護児童生徒(令和2年度新入学予定者)の認定について ・認定こども園建設検討委員会委員の推薦について ・令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について ・令和2年上川町成人のつどいについて ・令和2度上川町教育予算要求概要について
9	2. 2. 19	議案 協議案	・上川町外国青年就業規則の一部を改正する規則について ・語学指導等を行う外国青年誘致事業で来日する外国青年に係る人事評価要領の制定について ・上川町いじめ防止基本方針の策定について ・層雲峡小学校廃止に伴う交通費補助金交付要綱の廃止について ・令和元年度上川町教育奨励顕彰該当者について ・令和2度上川町教育予算概要について ・令和元年度上川町教育委員会補正予算の提出について

		報告	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会第二種施設に係る受動喫煙防止対策について ・令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の公表内容について ・学力向上道外先進地視察研修の結果について
10	2. 3. 5	議案 報告	<ul style="list-style-type: none"> ・上川町いじめ防止基本方針の策定について ・令和2年度上川町立学校職員の内申について ・区域外就学について
11	2. 3. 31	議案 報告	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について ・上川町立学校管理規則の一部を改正する規則について ・上川町学童保育センター運営管理規則の一部を改正する規則について ・上川町教育委員会職員の特殊勤務に従事する職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について ・上川町就学援助要綱の一部を改正する要綱について ・令和2年度上川町教育委員会事務局職員の任免について ・令和2年度上川町立学校職員の内申について ・SNSのトラブルについて

③ 学校訪問の実施

実施月日	訪問学校	内 容	出席者
1. 5. 30	上川小学校 上川中学校	授業参観、学校経営状況ほか (給食試食)	教育長と委員4名
1. 11. 27	上川小学校 上川中学校	授業参観、学校運営状況の中間評価ほか	教育長と委員4名

④ 研修会等への参加状況

開催月日	内 容	場 所	出席者
31. 4. 22	上川管内教育委員会連合会総会並びに第1回委員研修会	旭川市	教育長と委員2名
1. 5. 14	北海道町村教育委員会連合会総会	札幌市	教育長と委員1名
1. 6. 27	上川管内中央部8町女性教育委員研修会	比布町	委員2名
1. 7. 11~12	全道教育委員研修会及び上川管内中央部8町教育委員研修会	札幌市ほか	教育長と委員4名
1. 10. 29~30	上川管内教育委員会連合会第2回委員研修会	東神楽町	教育長と委員3名
1. 11. 19	市町村教育委員会新任委員研修会	札幌市	委員1名

⑤ その他行事等への出席状況

開催月日	行 事 名 等	場 所	出 席 者
31. 4. 3	教職員辞令交付式	かみんぐホール	教育長と委員1名
31. 4. 5	上川小学校入学式	上川小学校	教育長と委員4名
31. 4. 5	上川中学校入学式	上川中学校	教育長と委員4名
31. 4. 8	上川高等学校入学式	上川高等学校	教育長と委員2名
31. 4. 24	白寿大学開講式	かみんぐホール	教育長と委員1名
1. 5. 18	上川中学校体育祭	上川中学校	教育長と委員2名
1. 6. 8	上川小学校運動会	上川小学校	教育長と委員4名
1. 9. 7	上川中学校学校祭	上川中学校	教育長と委員2名
1. 10. 20	上川小学校学芸会	上川小学校	教育長と委員2名
1. 12. 13	中高一貫教育報告会	かみんぐホール	教育長と委員1名
2. 1. 12	上川町成人のつどい	フラテッロ・ディ・ミクニ	教育長と委員4名

(2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実 績	点 検 ・ 評 価 と 方 向 性
学-1	外国語指導助手等招致事業	上川町における外国語教育の充実を図る	決算額 8,750,220円 月：①上川小学校 ②上川高校 火：①上川小/上川中 ②上川中学校 水：①上川小学校 ②上川中/上川小 木：①上川中 ②上川幼稚園・のぞみ幼稚園・中央保育所【ローテ】/上川中 金：①上川中学校 ②上川中学校	幼少期からALTとふれあうことが国際理解を深めることとなり、生の英語に触れることで外国語を学ぶ意欲の向上につながっている。 小学校新学習指導要領において、3・4年で35時間、5・6学年での70時間の授業時間数が定められており、平成30年度からALTの2名体制をとっている。国際交流の推進、外国語教育のさらなる充実を図る必要から事業継続とする。
学-2	教職員住宅整備事業	小中学校教職員の住宅整備を図る	決算額 7,333,107円 今年度事業の主なもの、教職員住宅の小破修繕、北町教職員住宅修繕、中央町・南町教職員住宅（H21建築）の償還金	住宅環境の確保は、教職員の福利厚生事業の一環及び地域の教育振興上不可欠であり、事業継続とする。
学-3	部活動通学費事業	スクールバス利用生徒で部活動により下校時等に他の交通機関を利用せざるを得ない家庭への保護者負担軽減を図る	決算額 8,181円 該当生徒1人 部活動生徒に対する通学費補助金交付要綱により公共交通機関の2/3、自家用車燃料代相当分（5km/lで算出）	生徒数減少に伴い活動が困難な部が存在する中、部活動の円滑な活動のためにも効果ある事業であるとともに、部活動生徒の保護者負担軽減が図られている。 越路、東雲、層雲峡から通学する部活動生徒がいない場合は事業休止とする。
学-4	教職員研修・研究活動事業	教職員の資質能力の向上を図る	決算額 776,787円 上川町教育研究会交付金事業 令和元年度は小中学校教諭各1名、教育委員会職員1名が千葉県浦安市・八千代市に研修視察を実施した。	児童生徒一人一人の良さに注目し、それを発揮しようとする意欲を育てることが極めて重要であり、教員の研修・研究の充実が必要である。 本事業を通じて、教職員の資質・指導力の向上が図られ、児童生徒の学力向上につながることを期待されることから事業継続とする。
学-5	生徒指導推進協議会事業	児童生徒の健全育成のための地域環境の整備推進	決算額 156,769円 大上川神社祭巡回指導 町内危険箇所・問題箇所の調査 校外生活のしおり発行、児童生徒の安全対策（携帯用防犯ブザーの配布）、標語募集・作成、こども110番のぼり購入・設置	児童生徒の安全確保及び交通安全・公共マナーの意識の高揚が図られている。 町内各学校が連携を図り、関係機関の協力を得て実践的な活動を推進するため、今後も事業継続とする。
学-6	部活動推進事業	学校教育活動の一環としての部活動の推進を図る	決算額 286,300円 6/21～22 中央地区中体連バレーボール大会 鷹栖町 11人 7/19～20 国民体育大会陸上競技大会 室蘭市 2人 12/21・28 上川中央地区中体連クロスカントリー大会 名寄市・下川町 2人 7/26～7/28 北海道中学校陸上競技大会 旭川市 6人 1/9～1/11 全道中体連スキー大会(クロスカントリー) 名寄市 1人	生徒に広く実践の機会を与え、技能の向上を図り、心身ともに健康な生徒の育成が図られている。今後も事業継続とする。

(2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
学-7	総合的学習等事業	自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する資質能力を育てる	決算額 336,976円 上小 植物の栽培、もちつき体験、施設見学 上中 進路啓発学習、宿泊体験学習、環境学習講演	体験学習等を通じて、自ら考えて行動に繋げる取組を展開できた。 自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を高める総合的な学習を充実させるために必要な事業であり、事業継続とする。
学-8	姉妹友好交流(カナダ訪問)事業	カナダアルバータ州ロッキーマウンテンハウス町との姉妹提携に伴い、両町の中学生の相互交流により生徒の豊かな感性と国際感覚を育むとともに、両町の友好親善に寄与する	決算額 4,768,988円 中学生カナダ訪問(生徒10人 引率者2人) 8/5～13	上川中学校の生徒とロッキーマウンテンハウス町の中学生との有意義な交流が行われ、カナダの大自然や食べ物・異文化を体験できた。 国際化がますます進展する中で、国際社会の一員であるという視野を持ち、相互交流し理解し合い異文化を知ることが重要なことであり、事業継続とする。
学-9	就学援助(奨励)事業	経済的理由により就学困難と認める児童生徒の家庭へ必要な援助及び特別支援学級に在籍する児童生徒の家庭へ特殊事情を鑑み必要な援助を行う	決算額 708,917円 ○要保護準要保護児童生徒就学援助費 学用品・通学用品・校外活動費(7人) 新入学児童生徒学用品費(2人) 修学旅行費(1人) 体育実技用品費(3名) ○特別支援教育就学奨励費 学用品・通学用品・校外活動費(3人) 新入学児童生徒学用品費(3人) 修学旅行費(1人) 体育実技用品費(2名) 学校給食費(7人)	経済的理由により就学困難となる児童生徒の就学の機会を確保するため、学用品、校外活動費などの支援を行なっている。生活困窮者や特別支援学級就学児の家庭に対し援助を行うことで、教育機会の平等が確保されている。 今後も必要となる援助を行うため、事業継続とする。
学-10	学童保育センター運営事業	留守家庭児童及び遠距離通学の児童を対象に保護者の委任を受けて下校後の教育的措置として児童の生活指導を図る	決算額 4,891,468円 開設場所 上川小学校1階 開設日数 284日 登録児童数 41人(月平均)	保護者が共働きあるいはひとり親家庭の児童が多い状況から、児童の健全育成及び保護者が安心して働くためにも、必要度が極めて高い。 今後も事業継続とする。
学-11	小学校管理運営事業	小学校の教育環境の整備充実を図る	決算額 64,780,898円 ○学校運営及び施設管理の適正執行 児童数 108名 教職員数 20名 事務補・公務補 2名	学校教育目標であるたくましく創造的に生きぬく子を育成するため、～粘り強く考え 自分の言葉で伝えることができる子どもを育てる～を年度重点目標に児童の心の育成、学力の習得・向上、健康と体力づくりを進めている。 小学校運営に必要な支援や教育にかかる教材、図書、機器等の経費であることから必要不可欠であり、良質な教育環境を維持するため事業継続とする。

(2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実 績	点 検 ・ 評 価 と 方 向 性
学-12	中学校管理運営事業	中学校の教育環境の整備充実を図る	決算額 28,806,297円 ○学校運営及び施設管理の適正執行 生徒数 71名 教職員数 18名 事務補・公務補 2名	学校教育目標である自ら学び心豊かにたくましく生きる人を育成するため、～自分で考え、判断し、正しいことに全力で行動できる生徒の育成～を年度重点目標に基礎的・基本的な学習内容・生活習慣の定着等を進めている。 中学校の運営に必要な支援や教育にかかる教材、図書、機器等の経費であることから必要不可欠であり、良質な教育環境を維持するため事業継続とする。
学-13	特別支援教育推進事業	学校における日常生活の介助(食事・排泄・教室の移動)、LD(学習障害)の学習支援、ADHD(注意欠陥・多動性障害)等、通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒への学習活動をサポートし特別支援教育の充実を図る	決算額 7,861,219円 小学校 支援員 1名 臨時教諭 1名 中学校 臨時教諭 1名	増加傾向にある困り感のある児童生徒に対し、きめ細かい指導により基礎基本をしっかりと身につけることができ、支援員配置の効果が現れている。 特別支援教育を充実させるためにも事業継続とする。
学-14	中高一貫教育推進事業	教育環境の推進及び上川高等学校の存続を図る	決算額 2,020,787円 <実践研究の実施状況> ■「6年間のキャリア教育を通して、幅広い進路選択をすることができる力を身につける」生徒を育成するための中高の連携の在り方についての研究 ○音楽大行進、声楽鑑賞、上中吹奏楽部定期演奏会、健康講演会、 ○公立高校説明会、進路啓発学習、進路相談会、地域産業体験、体験入学 ○スキー授業での教員派遣・乗り入れ授業 <各種検定奨励事業補助> 中学校 37人(延べ92人) 高 校 70人(延べ103人)	中高合同総合学習において、地域の自然環境や社会環境を学ぶことにより、知識・技能を活用して思考・判断する能力を育成することができた。 中高6年間の継続的なプレゼンテーション学習などにより、発表を通して表現する能力を育成することができた。 中高双方の教員が合同学習や授業のTTにおいて連携することにより、生徒の個々の能力を引き出すことができた。 更に魅力ある学校づくりを推進するとともに、上川高等学校の存続が必要であることから事業継続とする。
学-15	上川高等学校存続対策事業	上川高等学校の存続を図るため入学者に対し入学準備金の助成、町外から通学する生徒の家庭に対しては通学費等の助成を行うことにより、保護者の負担軽減を図る	決算額 12,586,708円 通学費等補助 鉄 道 71人 自転車等 17人 バ ス 5人 下 宿 1人 入学準備助成金 17人	上川中学校の卒業生が減少する中で、上川高校の存続を図るためには、町内外からの入学者を確保することが不可欠である。特色ある学校づくりの取組と同時に通学費補助・入学準備助成金等の効果が期待される。 今後の入学者確保に向けて、事業継続とする。

(2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
学-16	給食センター運営事業	幼児・児童・生徒の心身の健全な発達のため栄養バランスのとれた食事の提供と食事の正しい理解と望ましい食習慣を養う	決算額 51,569,732円 調理稼働日数 201日 提供食数 小学校 23,599食(1日平均 128食) 中学校 15,587食(1日平均 89食) センター 1,766食(1日平均 9食) 幼稚園 10,141食(1日平均 51食) 計 51,093食(1日平均 277食) 1食当たりの給食費 小学生 245円 中学生 290円 幼稚園 164円(牛乳なし) ※平成26年6月から開始 アレルギー代替食提供(平成30年8月から実施)	幼児・児童・生徒に必要な栄養バランスのとれた安心・安全な食事提供を行っている。また、上川町産の食材を提供し子供達からは好評となっているとともに、保護者からも野菜が充実し、おいしい給食と評価されている。心身の健全な発達のためにも、事業を継続する。
学-17	給食費無償化事業	給食費を補助することにより保護者の経済的負担を軽減し安心して子どもを生み育てやすい環境づくりに寄与する	決算額 8,084,668円 給食無償化事業(平成29年度から実施) 児童 108名 生徒 69名	保護者の経済的な負担を減らすことができ、子育て支援の充実の観点から、今後も事業継続とする。
社-1	社会教育施設整備事業	生涯学習活動の拠点となる施設の維持管理を図る	決算額 3,553,249円 かみんぐホール(公民館)の管理・運営 排煙口修繕 受電柱接地修繕 ホールフロアー修繕 和室畳表替え修繕 その他修繕等 かみんぐホール利用状況 22,757人	かみんぐホールは、多くの町民・サークル団体が利用する生涯学習活動の拠点であり、施設環境整備が不可欠のため事業継続とする。
社-2	生涯学習事業	町民の学習機会の充実と指導者や担い手の育成、様々な情報の提供と参加奨励を図る	決算額 127,978円 「上川町の社会教育」の発行 各種計画に基づいた事業報告 生涯学習に関する情報発信 「生涯学習通信(L's)」11号発行、かみんぐニュース、町HP等で適宜広報 生涯学習指導者銀行(地域サポートクラブ) 指導者の確保と小学校スキー授業、中学校空手授業、14件	住民の多様な学習要望に応え、学習情報の提供、指導者派遣、学習相談等を開催している。 生涯学習の基本である「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が学ぶことができる様々な情報の提供と参加推奨を図ることから、今後も事業継続とする。

(2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実 績	点 検 ・ 評 価 と 方 向 性
社-3	幼児・少年教育事業	子ども達が自ら社会性・独創性を養い、心身ともに豊かな人間形成が図られるよう、環境基盤等の強化に努める	決算額 156,065円 ジュニアリーダー養成 道主催の研修会に参加。自然体験学校を通したリーダー養成の充実 生涯学習アドバイザーを中心とした学習相談等の開催 子ども会育成会組織の機能充実 地域教育力の充実のための指導者研修を開催 異世代間交流事業 先人の知恵、生活を学び、教育力向上のための世代間ふれあい促進事業の開催 未就園児家庭教育学級の開設と子育て支援団体との交流 学習機会の充実 児童生徒主張のつどい、新春書き初め大会、ジャンプアップひろば(夏)、通学合宿【中止】、上川地域未来塾	乳幼児期の子どもの成長や発達に応じた親の子どもに対する関わり方などの学習機会を提供するなど家庭教育支援が図られている。 少年期では、家庭における学習習慣の定着などを目的とした上川ジャンプアップひろばの開催、子ども会活動、自然体験学校事業により健やかな心身が養われている。中学生対象の上川地域未来塾ではICTを活用した学習や大学生による学習指導により学習機会の定着を図っている。 次代を担う乳幼児少年の健全育成のため、一層の幼稚園・保育所、学校、関係機関との連携を深めるため事業継続とする。
社-4	成人教育事業	成人へ様々な情報・交流・研修の場を提供し、個々の活動の活性化を図る	決算額 500,368円 学習機会の充実、情報の提供 英会話、料理などの教養講座の開催 地域コミュニティスクール 東雲、層雲峡地区コミュニティスクールの支援 成人のつどいの開催 新成人を祝う集いの開催(参加37人)	成人の学習ニーズに応じた多様な学習機会を提供することにより、各団体、個人の自己研鑽が図られている。 青年、女性層の減少により団体の組織化が困難となり、合わせてリーダー等の担い手不足も生じている。地域・年齢・男女などの垣根を越えた団体、グループの組織化が求められる。 高齢者教育の前のステップとして事業継続とする。
社-5	高齢者教育事業	次世代に高齢者の持つ豊富な経験と知識を継承するとともに、自学・自修の機会の提供を図り社会参加を促す	決算額 33,824円 児童生徒との交流 白寿大学合唱クラブにより中学校学校祭での発表 上川ジャンプアップひろばへの協力(流しそうめん等) 関係機関との交流 高齢者学びのつどいへの参加 他町高齢者大学との交流 学習領域の拡大 白寿大学の開設と月1回の授業開催 世代間交流事業 先人の知恵、生活を学び、教育力向上のための世代間ふれあい促進事業の開催 (ボッチャ選手権大会:28チーム84名) 高齢者人材確保、ボランティア活動の推進 生涯学習指導者銀行登録	一生涯学び続けることのできる生涯学習の場として、高齢者が生きがいのもてる学習や事業の提供が図られている。 参加者自らが率先して学習プログラムの立案、運営を行い効果的な事業展開が図られている。 高齢期を健康で過ごすために事業継続とする。

(2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
社-6	公民館活動事業	町民の多様化する学習ニーズに対応するため、各種講座・教室等の開催や学習情報の提供を行う	決算額 790,507円 講座等の開催 自然観察講座(4回、延80人)、町民登山会(2回、延43人)、学校開放事業(2団体、延1,403人)、教養・趣味講座(9回、延112人)、自主学習講座(1回、12人)、全町俳句大会(1回、17人) 体育・レクリエーション事業 チビっ子チャレンジランキング(低・高学年)、全町ラジオ体操のつどい(夏休み25日間)、かみかわっ子祭り	実生活に即した教育、学術、文化事業が実施され、教養の向上、情操の涵養、健康増進が顕著に図られている。 町内外の専門講師を招くなど、地域の学習や文化の推進に寄与し、「あつまる」、「まなぶ」、「つなぐ」の基本理念の推進が図られることから事業継続とする。
社-7	芸術・文化事業	町民に優れた芸術に触れる機会を提供するとともに、町内で文化活動をされている個人・団体の支援を図る	決算額 3,531,899円 文化鑑賞事業 未就学児対象(人形劇102名)、一般対象(演劇、他5件 140名)、高齢者対象(202名) 文化講演事業 一般対象(林家たい平講演332名) 町民文化祭 町民が一堂に会しての文化祭(作品展示、舞台発表、産業展示販売ほか) かみかわ美術展の開催(5/13～7/21) 日頃の成果の発表の場を提供 文化協会活動支援事業(19団体188名) 町内文化サークル団体への活動支援	音楽・演劇など優れた芸術に触れるとともに、著名人の講演を聴くことで地域文化の振興と町民の教養向上が図られる。 また、日頃の文化活動の発表の場を提供することで、サークル活動の充実と地域文化の推進が図られることから事業継続とする。
社-8	文化財保護・活用事業	郷土の歴史に関する資料の収集保存・保護を推進し、町の歴史的文化財継承を図る	決算額 5,612,913円 郷土資料館の管理・運営 利用人数 428人 郷土資料収集員 郷土資料収集員(5名)による会議の開催 日常の郷土資料収集 天然記念物の保護保全 天然記念物現状変更申請事務 アイヌ文化保存継承事業	郷土理解・学習を深められる施設(ふる里たいせつ館)となるよう、資料の展示・整理を行っている。 開拓当時の生活必需品や農機具・林業機材の収蔵・展示を行い、先人の偉業や開拓の歴史を町民の財産として後世へ残していくことは極めて重要であることから事業継続とする。

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
社-9	図書室管理事業	町民の多様な要求と学習に応じた図書の整備及び読書普及活動の拡充を図る	決算額 9,129,498円 読書普及事業 上川小学校、つつじ苑、図書室での読み聞かせ、層雲峡地区、ふれあいセンター(中央老人クラブ例会)への移動図書 青空図書館の開催、読書感想文コンクールの実施、学校図書室整理補助 図書購入 一般書 388冊、児童書 172冊 合計 560冊 蔵書等合計 48,729点 年間利用者数 7,569人 貸出数 16,106点 人口1人当たり4.73点(うち図書:3.99冊)	読書活動の推進が図られるよう期間ごとの展示や読み聞かせ等を行っている。 読書ボランティアの協力のもとに行っている絵本の読み聞かせ等により、子どもの読書活動の推進が図られている。 町民のニーズに応えた図書整備や更なる読書普及活動等の推進を図り、身近な生涯学習の拠点として事業継続とする。
社-10	スポーツ・レクリエーション事業	各種スポーツ・レクリエーション事業及びスポーツ教室等を開催し、スポーツ活動の普及及び身近にスポーツを親しむ機会と交流の場を設けることにより町民の健康増進を図る	決算額 3,287,930円 【チビっ子教室関係】 野球教室7回(5名)、剣道教室10回(2名)、水泳教室10回(17名)、陸上教室10回(14名)、 基礎体力養成教室20回(44名)、スキー教室4回(17名)、 スケート教室10回(14名)、北海道日本ハムファイターズ 少年野球教室(23名) 【成人教室関係】 やさしいエクササイズ教室7回(16名) 【大会・レクリエーション関係】 春季ソフトミニバレーボールリーグ戦 8チーム79名 ナイターソフトボール大会 9チーム142名 全町パークゴルフ大会 22チーム105名 秋季ソフトミニバレーボールリーグ戦 5チーム50名 新体力テスト 8名 全道ジュニアクロスカントリー上川大会 33名 トレーニングマシン講習会 91名	心身ともに健康であり続けるために、住民誰でも気軽にスポーツやレクリエーションの楽しさを味わえるような活動機会が設けられている。 スポーツ活動の普及を図ることにより、住民の交流する機会が深められ地域の活力向上につながっている。 このことから重要な事業であり、今後も事業継続とする。
社-11	体育団体の育成と連携事業	体育協会、チビっ子スポーツ少年団等との連携や、運営に対する助成を行い、各体育団体の育成を図る	決算額 986,000円 体育協会 11団体 358名 スポーツ少年団 7団体 45名 チビっ子スポーツ少年団 8団体 51名	体育協会やスポーツ少年団等と連携し、継続的に団体育成が図られている。 スポーツ少年団を育成することにより、子供たちの体力や技術力の向上及び健全な育成が図られている。また、体育団体への助成により各種団体の町民のスポーツ参加の機会が図られている。 内容等を審査しながら今後も事業継続とする。

(2)主要施策、事業等の実施状況及び評価

No.	事務事業名	目的	実績	点検・評価と方向性
社-12	体育施設整備事業	スポーツ施設の適正な維持管理を行い、町民の健康増進を図る	決算額 50,954,700円 施設利用状況 総合グラウンド 5,233人 総合体育館 16,823人 [内 トレーニングマシン利用者] [10月～3月対前年比 213%増] 栄町パークゴルフ場 2,080人 町営球場 2,831人 水泳プール 1,512人 中山スキー場 795人	各施設の点検及び整備が適切に行われている。 生涯スポーツの推進にあたり、町民の健康増進を図るため、多くの町民が快適に利用できるよう、トレーニングマシンの更新等各スポーツ施設の良好な維持管理がなされている。 今後も多様な利用者ニーズに合った施設整備が必要であると同時に、老朽化している施設の計画的な整備を行っていくため事業継続とする。

5、学識経験者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検及び評価の結果に対する意見をいただくことにいたしました。

このことにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等については今後の施策、事業等の展開に活用していきます。次の二人の方からご意見をいただきました。

中村道子氏（上川町社会教育委員、上川町公民館運営審議会委員）

馬場隆行氏（上川町社会教育委員、上川町公民館運営審議会委員）

(1) 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び上川町教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の委員が教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定を行っています。

また、教育現場の意見に基づいた議論を行うために、年2回の学校訪問、運動会や学芸会、公民館・社会教育事業などにも積極的に出席し、教育現場の意見や要望に耳を傾けたり、児童生徒や地域住民の活動の様子を視察しています。加えて、全道や管内の研修会にも積極的に参加し、研修及び意見交換を進め、教育の在り方を検討しています。

以上のことから、教育委員会の活動は適切に進められているものと判断いたします。

(2) 学校教育

学校教育では、義務教育において良質な教育環境を維持するため、教材、図書、機器等の確保が適正に図られ、教職員の資質能力の向上に向けた研修・研究が行われています。学力向上については、習熟度別や少人数指導、チーム・ティーチングなどきめ細かな授業が行われ、町独自の臨時教員及び支援員が配置され、併せて朝学習・読書活動・放課後学習等が実施され学習の定着化と学力向上のための対策が図られており、一人ひとりの能力や個性を伸ばす指導が展開されており評価できます。

外国語教育や国際理解教育では、ALTを増員し2名体制で配置し、幼児から小中高生までの英語教育が行われております。また、ロッキー・マウンテン・ハウス町へ中学生が訪問し、交流するなどの経験をとおり、国際社会へ対応できる人材育成が図られており評価できます。

高校教育では、通学費補助事業、上川高等学校入学準備助成金事業を実施するとともに、中高一貫教育推進事業においては、漢字・英語・数学等各種検定の補助を行っており、保護者の負担軽減や生徒の学力向上につながっていると推察します。今後も高校存続に向けて、より一層の対策が図られることを期待します。

学校給食については、衛生管理の徹底を図るとともに、栄養士や調理員が工夫を凝らしながら、幼児・児童・生徒の心身の健全な発達のため安全・安心な学校給食が提供されています。また、小中学校の児童・生徒の給食費が完全無償化され、保護者の経済的負担軽減が図られており評価できます。

(3) 社会教育

社会教育では、上川町社会教育の総合的な計画として「第9次上川町社会教育中期振興計画」が策定され、学習環境の整備に努められています。また、児童生徒を対象に長期休業中や放課後での学習機会の充実・提供が図られていることは子どもたちの学習意欲向上に大きく寄与しており評価できます。

このほか、家庭教育学級や高齢者大学を年間通じて開設したり、自然観察や教養・趣味講座などが多く開設されています。

また、町民の日ごろの成果の発表・交流の場としての上川美術展や町民総合文化祭の開催、優れた芸術に触れる機会である文化鑑賞事業や文化講演会に多数の町民が参加しており、今後はさらなる内容充実を図るなど一層の参加者拡大に向けた取り組みに期待いたします。

文化財保護・活用事業では、上川町郷土資料館「ふる里たいせつ館」が、先人の苦勞・郷土の歴史を学ぶ学習施設として開放されておりますが、より一層、町民に利活用されるよう取り組みを期待します。

図書事業では、町民のニーズに応えた図書を充実し、利用の促進を図っており、読書ボランティアによる読み聞かせも継続しています。特に、絵本、大型絵本、紙芝居などを活用した青空図書館や層雲峡地区への移動図書、小学校での読み聞かせなどを行っているほか、小中学校図書室充実に向け整理補助活動をされ子どもたちへの普及活動に力を注いでいることは評価できます。

社会体育では、栄町パークゴルフ場が、町民の健康増進に大いに利用されているほか、体育施設の修繕・補修が計画的に行われており、令和元年度にはトレーニングマシンの更新により利用者が増え、町民が身近で気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるように努めております。

また、元プロ野球選手の指導を受けられる北海道日本ハムファイターズ少年野球教室の開催は、子どもたちに夢を与えられる企画であると評価できます。

チビっ子スポーツ教室や一般を対象とした講習会・教室を開設しているほか、ソフトミニバレーボール、ナイターソフトボールやパークゴルフの各大会の実施や支援を行なっていますが、町民の健康増進を図るためにも事業内容の充実を図るなど参加者拡大の取り組みに期待します。

(4) 総合評価

令和元年度(平成31年度)における委員会活動状況及び学校教育、社会教育の施策・事務事業等が適正に点検評価されております。

生涯を通じて人間性豊かな創造性に富んだ人づくりのため、住民の学習意欲の向上を図り、学校・家庭・地域との連携や福祉、産業などの多様な分野が有機的に結びついた生涯学習体制の確立に努めていただきたいと思います。

また、学校・家庭・地域が連携しての事業展開や生活習慣の改善、子どもたちの学力向上はもとより、いじめや自殺問題など様々な課題等に対応するため、柔軟かつ的確な判断のもと、教育施策を推し進めることが求められています。そのため、学校と教育委員会が一丸となり、実情把握に努めるなど万全な対応と「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな身体」の調和のとれた学校教育活動の推進を図っていただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染予防の対応にも配慮が必要となることと思いますが、少子高齢化、人口の減少などから各種生涯学習事業の参加人数の減少や指導者不足などの課題が山積するなか、生涯学習の原点に立ち住民ニーズの把握に努め地域の特性を生かした様々な学習機会の提供・情報発信を町全体で具体的かつ効果的に取り組みが行われるよう期待します。

令和2年9月7日

中 村 道 子

馬 場 隆 行